

## 令和3年度柳井市空き家等実態調査の概要

### ○調査の目的

平成28年度に市内全域の空き家等実態調査で確認した空き家の現在の状況と、前回調査以降に空き家等になった建物を把握するために、令和3年度に市内全域において、空き家等の実態調査を行いました。

本調査は、本市の空き家等の所在や実態を把握することにより、今後の空き家等対策の基礎資料とすることを目的としています。

### ○調査結果の概要

調査対象とした建物の用途は、戸建て住宅・共同住宅・店舗・事務所・工場等で、30,386件となり、前回調査時点より1,952件増加しました。

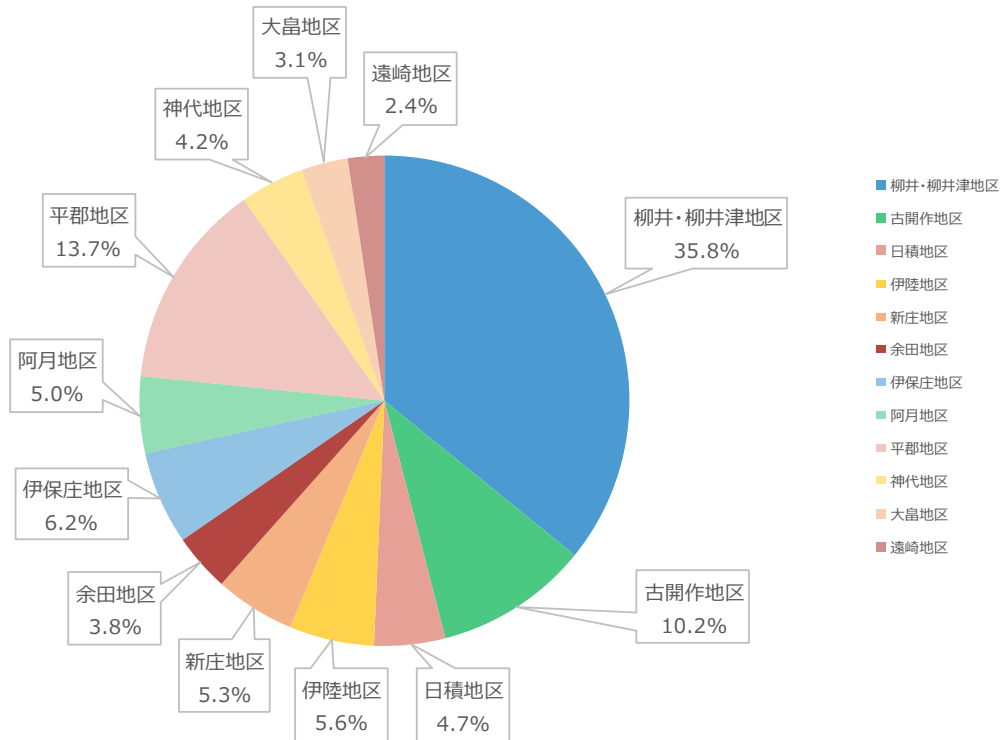
調査は外観目視による現地調査で行われ、空き家として1,624件が判定され、前回調査に比べ353件増加しています。

なお、前回調査で空き家と判定された1,271件のうち、443件の空き家が利活用や除却などにより改善されています。

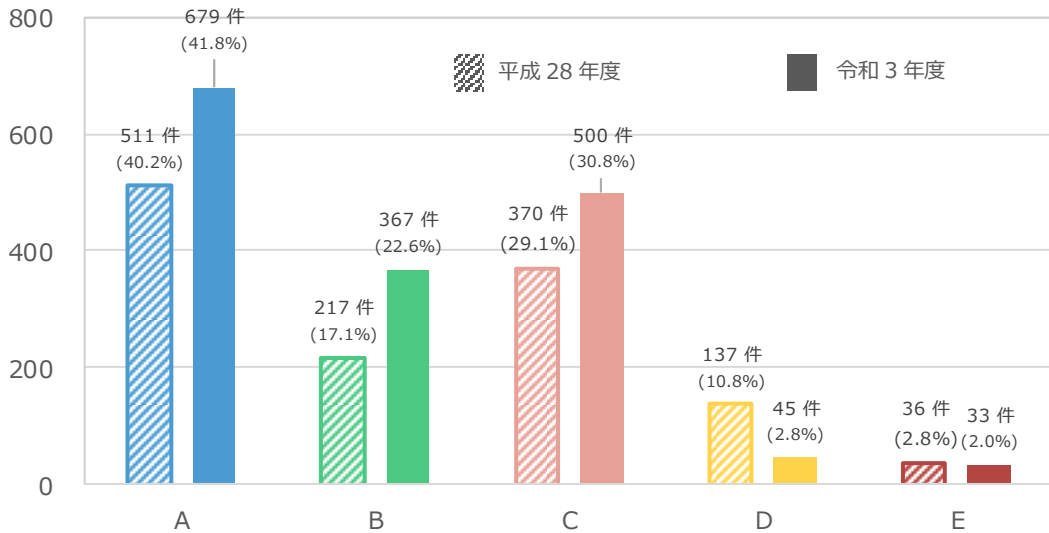
### 【地区別空き家一覧表】

地域	建物数	空き家数	空き家率	前回空き家数	空き家数増減
柳井・柳井津	9,534	582	6.1%	462	120
古開作	3,372	165	4.9%	135	30
日積	2,333	76	3.3%	65	11
伊陸	2,251	91	4.0%	51	40
新庄	3,184	86	2.7%	59	27
余田	1,762	62	3.5%	43	19
伊保庄	2,589	100	3.9%	79	21
阿月	1,085	82	7.6%	69	13
平郡	1,014	222	21.9%	194	28
神代	1,639	69	4.2%	61	8
大島	874	50	5.7%	28	22
遠崎	749	39	5.2%	25	14
合計	30,386	1,624	5.3%	1,271	353

【空家分布状況（全体 1,624 件）】



【空き家と判定された建物の老朽度・危険度調査の結果】



- A 判定 小規模の修繕により再利用が可能
- B 判定 管理が行き届いていないが当面の危険はない
- C 判定 管理が行き届いておらず損傷が激しい
- D 判定 倒壊の危険性があり修繕や解体などの緊急度が高い
- E 判定 倒壊の危険性があり解体などの緊急度が極めて高い